ワイヤレスステレオヘッドセット
ATH-BT12

取扱説明書

audio-technica

リファレンスガイド

お買い上げありがとうございます。

こちらのページは取扱説明書 リファレンスガイド 、
裏ページは取扱説明書 ユーザーマニュアル で構成されております。
ご使用前に、この取扱説明書のすべてをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠ 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠ 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠ 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

⚠警告

●心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の場所では使用しない
ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。

●本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。

●本製品を航空機内で使用しない
電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。

●自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない
電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。

●分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。

●強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。

●濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。

●異常に気付いたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがありましたら、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。

●水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。

●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない
感電、故障や火災の原因になります。

●布などでおおわない
過熱による火災やけがの原因になります。

●自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない
交通事故の原因となります。

●周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など)では使用しない
事故の原因となります。

⚠注意

●大音量で耳を刺激しない
耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。

● 肌に異常を感じた場合は、使用しない
すぐにご使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。

ヘッドホンについて

⚠注意

●本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐにご使用を中止してください。

●耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。

●ヘッドホンを耳から外したときは、必ずイヤピースが本体に付いているかご確認ください。イヤピースが耳の中に残り取り出せない場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

●本製品は耳を塞ぐ形状のため、蒸れによりかゆみなどを感じることがあります。その場合は一旦ご使用を中止してください。

充電式電池について

本製品は、充電式電池(リチウムポリマー電池)を内蔵しています。

⚠危険

●電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。

●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
- 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
- 万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
- 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない
発熱、破損、発火の原因になります。

●落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●以下の場所で使用、放置、保管しない
- 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
- 炎天下の車内
- ストーブなどの熱源の近く

液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

●水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。

●付属の充電用USBケーブル以外で充電しない
故障や火災の原因になります。

⚠注意

●機器を使用したあとは必ずスイッチを切る
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。

■本製品を廃棄する場合　リサイクルのお願い

Li-ion

内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を下記宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますので予めご了承ください。

送り先：　〒915-0003　福井県越前市戸谷町 87-1
株式会社テクニカフクイ　二次電池回収担当　宛
TEL：0778-25-6736(電池回収専用)

■内蔵充電式電池の交換のしかた

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。内蔵充電式電池の交換は、お客様ご自身で行わず、当社サービスセンターへご相談ください。

●サービスセンター　☎ 0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）

使用上の注意

- ●ご使用の際は、*Bluetooth*機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- ●万一、*Bluetooth*機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- ●交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- ●接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- ●乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるものでヘッドホンの故障ではありません。
- ●強い衝撃を与えないでください。
- ●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
- ●本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- ●本製品をそのままバックやポケットなどに入れるとコードが引っ掛かり、断線の原因になります。必ず付属のケースに収納してください。
- ●コードを本製品に巻き付けないでください。断線の原因となります。
- ●本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限り有効です。
それ以外（アプリなど利用してパケット通信を介している電話）は、動作保証できません。予めご了承ください。
- ●本製品の近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- ●テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- ●内蔵充電式電池を保護するため、半年に1度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなったり、充電しなくなったりする恐れがあります。

＊*Bluetooth* ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc.の所有であり、株式会社オーディオテクニカは、ライセンスに基づきこのマークを使用しています。
他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。

*Bluetooth*製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH1　この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてFHSS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

※本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している各国でのみ使用できます。詳しくは当社ホームページの製品情報をご確認ください。

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務省の許可なしに改造、または証明ラベルをはがして使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

ほかの機器との同時使用

*Bluetooth*搭載機器・無線LANを使用する機器・デジタルコードレス電話・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。

- 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
- 病院内／電車内／航空機内では使用しない

使用上の注意

本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定める*Bluetooth*標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。

*Bluetooth*標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。
お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

●本体について

乾いた布で汚れを拭いてください。特に本体のイヤピース装着部は、イヤピースを通して皮脂などの汚れが付着します。汚れが付着したまま使用すると、イヤピースが外れやすくなります。こまめに汚れを拭いてください。なお、音が出る部分は繊細なため、触らないようにしてください。故障の原因になります。

●コードについて

汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。
汚れたまま使用すると、コードが劣化して固くなり、故障の原因になります。

●イヤピース、Cチップについて

■イヤピース／Cチップのサイズについて

本製品は、4サイズのシリコンイヤピースXS、S、M、Lと、3サイズのCチップS、M、Lを付属しており、お買い上げ時はMサイズが装着されています。よりよい音質で楽しんでいただくために、イヤピースのサイズを換えて、イヤピースを耳の収まりのよい位置に調整してください。イヤピースが耳にうまく装着されていないと低音が聞こえにくいことがあります。

■お手入れのしかた

本製品からイヤピース、Cチップを外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は乾いてからご使用ください。

■交換のしかた

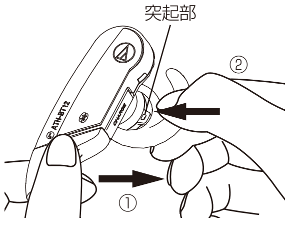
シリコンイヤピースの場合

イヤピースを外し、新しいイヤピースを斜めから押し当てます。内側を広げるように強く押し込み、奥までしっかり取り付けてください。

※イヤピースが外れにくい設計にしているため、取り付けがきつくなっています。

Cチップの場合

先にイヤピースを外します。Cチップを外側に引っ張るようにしながら、ヘッドホンから外します。交換するCチップは左右（L/R）の表示を確認後、取り外したときと同じように引っ張りながら取り付けてください。その際、ヘッドホンの突起部にCチップを引っかけて固定してください。



※Cチップは外れにくい設計にしているため
取り付けがきつくなっています。

- ●長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。
- ●イヤピースおよびCチップは消耗品です。保存や使用により劣化しますので、お早めに交換してください。
  イヤピースおよびCチップの交換や、そのほか修理については当社サービスセンターへお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

本製品を充電してください。

ペアリングができない

当社ホームページで、適合機種をご確認ください。

Bluetooth 機器の通信方式がVer.2.1＋EDR以上で使用可能です。

本製品と*Bluetooth* 機器の距離を1m以内に近付けてください。

Bluetooth 機器のプロファイルを設定してください。設定方法は、*Bluetooth* 機器の取扱説明書をお読みください。

音が出ない ／ 音が小さい

本製品と*Bluetooth* 機器の電源を入れてください。

本製品と*Bluetooth* 機器の音量を大きくしてください。

Bluetooth 機器の音声出力先を*Bluetooth* 接続に切り換えてください。

音が割れる ／ ノイズが出る ／ 音が途切れる

本製品と*Bluetooth* 機器の音量を小さくしてください。

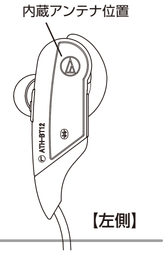
本製品から電子レンジ、無線LANなどの機器を離してください。

本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。
これらの機器に影響を与える場合があります。

Bluetooth 機器のイコライザー設定を「OFF」にしてください。

本製品のアンテナは、右図の位置に内蔵されています。本製品のアンテナと*Bluetooth*機器との間に障害物(金属、壁、人体など)が入らないようにしてください。

マルチポイント接続をオフにするか、接続を完了させてください。
2台目の*Bluetooth* 機器への接続検索中は音切れする場合があります。



相手の声が聞こえない ／ 相手の声が小さい

本製品と*Bluetooth* 機器の電源を入れてください。

本製品と*Bluetooth* 機器の音量を大きくしてください。

A2DP接続の場合は、HFP/HSP接続に切り換えてください。

Bluetooth 機器の音声出力先を*Bluetooth* 接続に切り換えてください。

本製品の充電ができない

確実に充電用USBケーブルを接続して充電してください。

充電用USBケーブルを接続した状態で、マルチファンクションボタンを短押ししてください。

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合や、3時間以上充電しても充電が完了しない場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。その際は、当社サービスセンターへご相談ください。

※*Bluetooth* 機器の操作に関しては、機器により操作が違うため、お持ちの*Bluetooth* 機器の取扱説明書をお読みください。

※不具合が解消されない場合は、本製品をリセットしてください。リセット方法は「リセット機能」を参照してください。

■*Bluetooth*対応携帯電話の情報について

*Bluetooth*対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページまたはお客様相談窓口でご案内しています。

PCサイト　http://www.audio-technica.co.jp/atj/support/
＊TOPページ ＞ 一般製品 ＞ 製品適合リスト
モバイルサイト　http://www.audio-technica.co.jp/i/

※適合リスト外の動作は保証できませんので、あらかじめご了承ください。
※本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している各国でのみ使用できます。
詳しくは当社ホームページの製品情報をご確認ください。
※マルチポイント接続については適合検証を行っておりません。すべての*Bluetooth*機器での組み合わせや動作を保証するものではありません。

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先（電話受付／平日9：00～17：30）
製品の仕様･使いかたや修理･部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●お客様相談窓口（製品の仕様･使いかた）　**0120-773-417**
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター（修理･部品）　**0120-887-416**
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp
●ホームページ（サポート）　www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

ワイヤレスステレオヘッドセット
ATH-BT12

取扱説明書

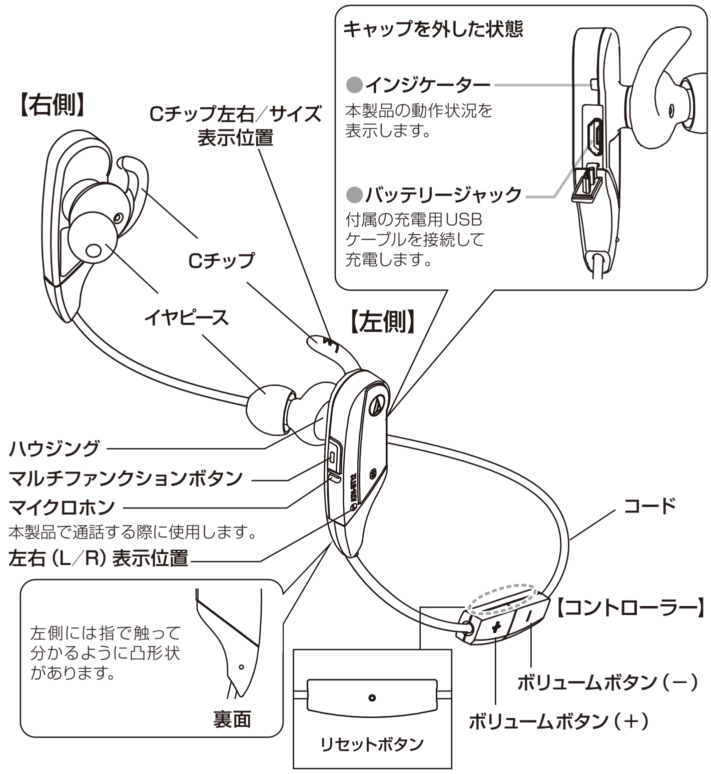
audio-technica

ユーザーマニュアル

お買い上げありがとうございます。

こちらのページは取扱説明書 ユーザーマニュアル 、
裏ページは取扱説明書 リファレンスガイド で構成されております。
ご使用前に、この取扱説明書のすべてをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

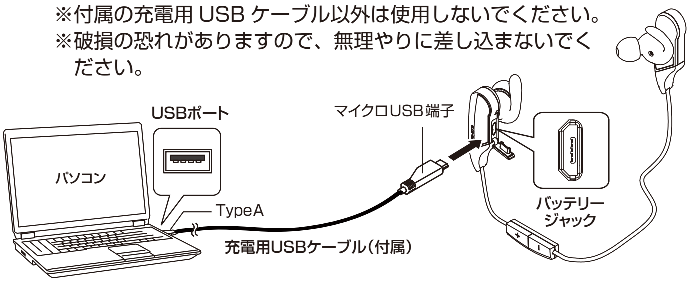
各部の名称と機能


キャップを外した状態
●インジケーター
本製品の動作状況を表示します。
●バッテリージャック
付属の充電用USBケーブルを接続して充電します。
【右側】
Cチップ左右／サイズ表示位置
Cチップ
イヤピース
【左側】
ハウジング
マルチファンクションボタン
マイクロホン
本製品で通話する際に使用します。
左右（L／R）表示位置
コード
【コントローラー】
左側には指で触って分かるように凸形状があります。
裏面
リセットボタン
ボリュームボタン（－）
ボリュームボタン（＋）

充電のしかた

初めてご使用になる場合は、充電を行ってください。
また、充電式電池の残量が少なくなった場合、本製品から「ピポッ・ピポッ」と音が鳴り、インジケーターが赤色点滅します。音が鳴った場合は、充電してください。
満充電までに必要な充電時間は約3時間です。（使用条件により異なります）
※充電中は *Bluetooth* の接続が切れますので、本製品を使用することはできません。

1 付属のUSBケーブル（マイクロUSB端子側）を本製品のバッテリージャックに向きを合わせて水平に差し込みます。
※付属の充電用 USB ケーブル以外は使用しないでください。
※破損の恐れがありますので、無理やりに差し込まないでください。



2 USBケーブル（TypeA側）をパソコンに接続して、充電を開始します。

3 充電時は、インジケーターが下記のように点灯・消灯します。

赤点灯　：充電中
消灯　：充電完了

※充電が開始したことをインジケーターの点灯で確認してください。
充電が開始しない場合はマルチファンクションボタンを短押ししてください。

接続のしかた

ペアリングについて

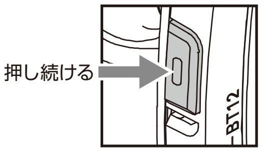
本製品と *Bluetooth* 機器を接続する場合は、本製品とペアリング（登録）する必要があります。一度ペアリングをすれば、再びペアリングする必要はありません。
ただし、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- **修理などを行った場合**
- ***Bluetooth* 機器の接続履歴から削除された場合**
- **9台以上のペアリングをした場合**
  （本製品は合計８台までペアリングすることができます。８台分をペアリングしたあとに、新たな機器をペアリングすると、８台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。）

ペアリングのしかた

※*Bluetooth* 機器の取扱説明書も併せてお読みください。
※*Bluetooth* 機器をヘッドセットの1m以内に置いてペアリングを行ってください。
※ペアリングの音を確認する際は、本製品を装着してください。

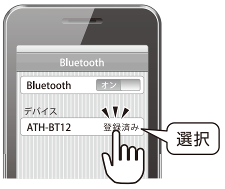
1 本製品の電源が切れている状態で、マルチファンクションボタンを押し続け（約５秒）、インジケーターが赤・青交互に点滅したら離します。



ピーポッポ ♪

2 接続する *Bluetooth* 機器でペアリング操作を行い、本製品を検索します。
＊ *Bluetooth* 機器の使いかたは、機器の取扱説明書をお読みください。

3 本製品を検索すると *Bluetooth* 機器に「ATH-BT12」と表示されます。
「ATH-BT12」を選択し、接続する機器に登録してください。
機器によっては、パスキー＊を要求される場合があります。その場合は、「0000」を入力してください。
＊パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードと呼ばれる場合があります。



4 音が鳴るとペアリングが正常に行われ、ペアリング完了です。

プープー

マルチポイントについて

本製品は、2台の *Bluetooth* 機器を同時に接続して、携帯電話の待ち受けを同時に行うことができます。
※すべての *Bluetooth* 機器での組み合わせ、動作を保証するものではありません。

マルチポイント接続のしかた

マルチポイント接続を有効にする。

1 *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* を「OFF」にし、本製品の電源を「ON」にする。
2 本製品が接続待ちの状態で、コントローラーの＋ボタンを押しながらマルチファンクションボタンを約 1 秒長押しして「ポポッ」と音が鳴ってから離してください。
※ご購入時はマルチポイント接続が有効になっております。

Bluetooth 機器と接続する。

1 1 台目の *Bluetooth* 機器とペアリングを行ってください。
2 1 台目のペアリングが完了したら、*Bluetooth* 機器の *Bluetooth* を「OFF」にします。
3 2 台目の *Bluetooth* 機器とペアリングを行ってください。
4 1 台目の *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* を「ON」にします。
※つながらない場合は、本製品の電源を入れ直してください。
※マルチポイント接続にて接続できる機器は 2 台までです。3 台目の機器を接続する場合は、新しく接続した順に 2 台目までが接続されます。

マルチポイント接続を無効にする。

1 *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* を「OFF」にし、本製品の電源を「ON」にする。
2 本製品が接続待ちの状態で、コントローラーの－ボタンを押しながらマルチファンクションボタンを約 1 秒長押しして「ポポッ」と音が鳴ってから離してください。
※2 台目の *Bluetooth* 機器を接続しない場合は、マルチポイント接続を無効にしてご使用ください。
マルチポイント接続を有効にして、1 台のみを接続して使用すると、自動的に 2 台目の検索を行うため、音が途切れる場合があります。

インジケーター表示について

本製品のインジケーターの点滅・点灯表示により、下記の動作状態を意味しています。

動作状態		LED 表示パターン　● 赤色　○ 青色	
ペアリング	機器検索中	○●○●○●○●○●○●○●○…	点滅
接 続	接続待ち	●ーーーーーーーーーー●ーーーー…	
	SBC ／ aptX にて接続中	○ーーーーーーーーーー○ーーーー…	
電池残量	電池残量　少ない	●ーーーー●ーーーー●ーーーー…	
充 電	充電中	━━━━━━━━━━━━━━━…	点灯
	満充電	ーーーーーーーーーーーーーーーー…	消灯

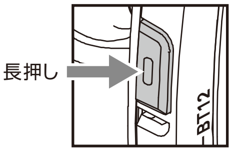
使いかた

本製品は、*Bluetooth* 接続を行い音楽再生や着信を受けることができます。用途に合わせてご使用ください。また、*Bluetooth* 機器やパソコンのアプリケーションなどの動作は保証できませんので、あらかじめご了承ください。

電源

ON　：**マルチファンクションボタン**を**長押し（約3秒）**すると、電源が入ります。

ピポパー ♪
（インジケーター：青）

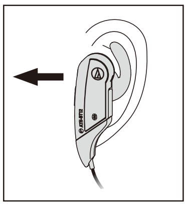


OFF：電源が入っている状態で、**マルチファンクションボタン**を**長押し（約3秒）**すると電源が切れます。

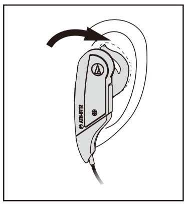
プーピー ♪
（インジケーター：赤）

装着のしかた

1　本製品の“L（左）”の表示側を左耳に、“R（右）”の表示側を右耳に装着し、イヤピースを調整します。



2　イヤピースを耳に装着した後、本製品を後頭部側に倒しCチップの突起を耳のくぼみに収めます。



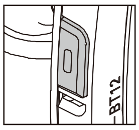
音楽を聞く

1　初めて接続する場合は「接続のしかた」を参考にして、*Bluetooth* 機器と本製品のペアリングを行い接続してください。
一度ペアリングを行った場合は、*Bluetooth* 機器の *Bluetooth* 接続を「ON」にして、本製品の電源を「ON」にすると接続が完了します。

2　接続した *Bluetooth* 機器の取扱説明書に従って、音楽を再生してお楽しみください。本製品では下記の操作ができます。

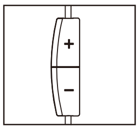
マルチファンクションボタン

短押し	**再生／一時停止**	再生、一時停止をします。



ボリュームボタン

＋ボタン	短押し	**音量UP**	音量が１段階UPします。※
	長押し*	**曲送り**	次の曲に送ります。
ーボタン	短押し	**音量DOWN**	音量が１段階DOWNします。※
	長押し*	**曲戻し**	前の曲に戻ります。



*約1秒長押しして、「ピッ」と音が鳴ってから離してください。
※音量が最大／最小になると「ピピッ」と音が鳴ります。

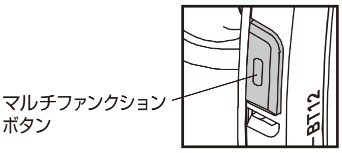
対応コーデックについて

本製品は、SBC／aptXコーデックに対応しております。ペアリングの際、相手側 *Bluetooth* 機器により自動的にSBCまたはaptXコーデックのいずれかが選択されます。
ただし、aptXコーデック対応機器でも音が出ない場合がありますので、その場合は相手側 *Bluetooth* 機器のaptXコーデックをオフにして接続し直してください。

電話を受ける

Bluetooth 機器に電話機能が搭載されている場合、本製品を使用して通話ができます。

Bluetooth 機器が着信すると、本製品から着信音が鳴ります。
音楽再生中に着信があった場合は、音楽が一時停止します。
通話が終了すると、音楽再生が再開します。



＊相手側 *Bluetooth* 機器によっては、音楽再生に戻らない機種があります。

受話

着信音が鳴ったら**マルチファンクションボタン**を押して、受話してください。

終話

通話中に**マルチファンクションボタン**を押すと、終話します。

通話音量の変更

通話中に**ボリュームボタン（＋/ー）**を押すと、通話音量の大小を変更できます。

本製品 ⟷ 携帯電話の通話切り換え

通話中、ボリュームボタン（＋）を押しながらマルチファンクションボタンを短押しする度に、*Bluetooth* 接続している携帯電話での通話⇔本製品での通話に切り換わります。

着信拒否

着信中にボリュームボタン（＋）を押しながらマルチファンクションボタンを短押しすると、着信拒否することができます。

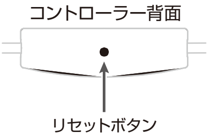
その他の機能

オートパワーオフ機能

本製品は、電源が「ON」の状態で、約５分間機器と接続しない状態が続くと自動的に「OFF」になります。

リセット機能

本製品が動作しないなど、不具合が生じた場合は、細い棒などを使用しコントローラー背面にあるリセットボタンを押してください。
リセットしても、音量などは初期化されません。



テクニカルデータ

通信仕様

通信方式	*Bluetooth* 標準規格Ver.3.0
出力	*Bluetooth* 標準規格Power Class2
最大通信距離	見通しの良い状態で10m以内*
使用周波数帯域	2.4GHz帯 （2.402GHz〜2.480GHz）
変調方式	FHSS
対応*Bluetooth*プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
対応コーデック	SBC、aptX
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
伝送帯域	20〜20,000Hz （44.1kHzサンプリング時）

ヘッドホン部

型式	ダイナミック型
ドライバー	φ13.5mm
再生周波数帯域	5〜25,000Hz

マイク部

型式	エレクトレットコンデンサー型
指向性	全指向性
感度	-42dB(1V/Pa、at1kHz)
周波数帯域	70〜8,000Hz

その他

電源	DC3.7V リチウムポリマー電池 （内蔵式）
充電端子	microUSB
連続再生時間	最大約5時間*
連続通話時間	最大約5時間*
連続待ち受け時間	最大約200時間*
充電時間	約3時間*
外形寸法（片側）	W18×H55×D9mm （コード,突起部除く）
コード長	約0.52m
質量	約20g（イヤピース,Cチップ除く）
使用温度範囲	5〜40℃
付属品	充電用USBケーブル（1.0m） シリコンイヤピース（XS,S,M,L） Cチップ（S,M,L） 専用ケース
別売	交換イヤピース ER-CKM55

＊使用条件により異なります。

（改良などのため予告なく変更することがあります。）